

平成 29 年度

公益財団法人駒ヶ根市文化財団

事業計画及び予算書 (案)

(公財) 駒ヶ根市文化財団

公益財団法人 駒ヶ根市文化財団

平成29年度 事業計画概要 (案)

公益財団法人駒ヶ根市文化財団は、駒ヶ根市との指定管理に関する協定に基づき、生涯学習・文化芸術の拠点施設である駒ヶ根総合文化センター及び天竜かっぱ広場の管理運営にあたります。

これまでに当財団が培った地域社会及び関係団体との信頼関係、更には専門的な知識や技術の集積と経験を活かし、関連施設全体のより一層の効率的・有機的な運営に努め、市民サービスの向上を図るとともに、更なる教育環境の充実と文化芸術の振興が図られるよう努めてまいります。

また、当財団は、公益財団法人への移行を自己変革の良い機会と捉え、法人運営の在り方や事業内容の見直しを進めておりますが、今後も、自己改革の手を緩めることなく、皆様の期待に応えられるよう、なお一層の資質向上を図ってまいりますので、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

なお、本年度は、市指定管理者として再指定され2年目となりますが、駒ヶ根総合文化センター及び天竜かっぱ広場ともに指定期間は、平成28年度から平成32年度までの5年間であります。

運営方針(サービスに関する基本的な考え方)

1 生涯学習・文化芸術の拠点施設としての総合文化センター

図書館、博物館、文化会館、勤労青少年ホーム及び女性ふれあい館から成る総合文化センター全施設の融合を図るとともに、市内の社会教育機関等との連携を図りながら、利用者の声を大切にし、真の市民の生涯学習・文化芸術の拠点となるよう、指定管理者として効果的・効率的な運営に努めてまいります。

平成29年度も引き続き、当財団の強みの一つである複合施設のメリットを活かしながら、各館連携のもと、多様な学習機会を提供できるよう、各種事業に取り組んでまいります。

なお、経年による施設・設備の老朽化が進んでいるため、業務に支障の生じないよう計画的に改修等を実施するとともに、長期改修(リニューアル)計画の見直しを図ってまいります。

2 文化会館

- * 年度協定で定められた予算の範囲内で自主事業を計画し、市民に優れた芸術鑑賞の機会を提供します。年間20本程の事業を実施し13千人の観客動員を目指します。
- * これまでの演目見直しの努力を継続し、有識者からの意見聴取及び利用者アンケートなどにより市民要望を的確に把握しながら、安価で質の高い芸術性豊かな公演等を提供します。
- * 地元出身者による公演や市民参加型事業に力を入れるとともに、特定分野に偏ることなく、子どもからお年寄りまでの幅広い年代層に足を運んでいただけるよう取り組みます。
- * 開館30周年記念事業のひとつとして行った「市民企画・公募型事業」の継続支援を行います。

- * 駒ヶ根郷土芸能まつりが第 30 回を迎えるにあたり、磐田市との芸能交流を行います。
- * 次世代の育成に目を向け、ジュニア市民(子ども達)が参加できる事業の充実を図ります。
- * 施設の貸付にあたっては、公益性の高い市民的行事等は優先的に受け付け、市の減免基準に基づき利用料を減免しながら、市民の利用しやすい環境づくりに努め、施設の稼働率を高めます。自主事業を含めた年間の利用者目標を 65 千人とします。

3 図書館

- * 一般図書と専門図書の均衡ある収集に努め、図書資料の充実を図りながら、あらゆる利用者の学習ニーズに対応します。蔵書目標は 189 千冊、年間貸出は 220 千冊を目標とします。
- * 業務に精通した有資格職員の配置を進め、レファレンスサービスの充実、図書館ネットワークの効果的な活用によりサービスの質を深めます。
- * 第3次駒ヶ根市子ども読書活動推進計画を準備・検討します。これまで5年間実施してきた第2次駒ヶ根市子ども読書活動推進計画について評価と反省を生かして、新たに子ども読書活動推進計画の策定の検討をしていきます。
- * 地域資料、貴重資料のデータベース化を図り、公開することにより、利用者のニーズに合った情報サービスを目指します。
- * 学校図書館と公共図書館で連携してアクティブ・ラーニングに対応できるように「調べ学習」のテキスト作成を図ります。

4 博物館

- * 収蔵する約 127 千点の民俗・考古・歴史・自然資料の適正保存に努めるとともに、その有効活用を検討し、公開展示、教育普及事業を実施します。また、資料収集を継続的に実施し、貴重な資料が廃棄・処分されてしまわないように啓蒙活動も実施していく。
- * 複合施設の利点を活かしつつ、関係機関や市民研究団体等と連携し、講座や展示の充実を図り市民に郷土研究、学習の場を提供します。また、これらの活動を通じ、郷土の文化財や自然に対する理解、保存の意識の高揚に努めます。
- * 市内芸術家で構成される「駒展実行委員会」と連絡・協調を高め、「駒展」をより充実させていく。また、第2回以降の「ジュニア駒展」を充実させていくために内容、開催時期等の検討を行い、児童・生徒の芸術活動の推進を図ります。
- * 展示室及び展示ロビーを市民の発表の場として活用し、文化芸術の発信基地としての事業の充実に努めます。
- * 市内文化財(人文系・自然系全般)の調査研究活動をより充実させ、平成28年度に一新した専門研究員の活動を充実させるとともに、その活動を支援する。また、博物館報により、その活動成果を市民に発信していく。

5 勤労青少年ホーム・女性ふれあい館

- * 勤労青少年及び女性の就業支援(スキルアップ)、生活支援(家庭生活の充実)のため、利用者のニーズの把握に努めながら、趣味、教養、技能、健康づくりなどの講座を開設します。年間 30 講座、受講者数(定員)450 名を目標とします。講座開設にあたっては、商工会議所等の関係機関との連携を図ります。
- * 勤労青少年及び女性の自主的な学習活動を支援するため、サークル(クラブ)を育成し、活

動の場を提供し、必要に応じて助言指導します。登録団体数は45団体、登録者数は450名を目標とします。

その際、サークルが独自の活動のみで終わってしまうことのないよう、自主運営の「利用者の会」を組織して、世代を超えた利用者相互の交流を促し、更には社会貢献活動にも取り組めるよう配慮します。

* 貸館利用を含めた年間利用者数の目標を30千人とします。

6 天竜かっぱ広場

* 「かっぱ」に関連した作品や資料を収集し、その収蔵資料を活かした親しみやすい展示を企画するとともに、他の教育機関や産業・観光施設などと連携しながら利用の促進を図ります。年間有料入館者の目標を2,200人とします。

* 市民が郷土の文化や自然への理解を深め、家族のきずなを深め、地域コミュニティの充実を図れるよう、ふれあい講座、ミニほっと講座を積極的に開催します。親子ふれあい講座の名称を「ふれあい講座」に改め、昨年開催した歴史講座を「ふれあい講座」の一部とします。各講座とも参加者の要望に応じながら、ふれあい講座は年8回程度、ミニほっと講座は年5回程度の開催を目標とします。

* 地域住民組織や観光協会と連携しながら、竜東の玄関口にある立地の良さを活かして、地域行事、体験交流型イベント及び観光案内に協力・参画し、地域振興に貢献できるよう取り組みます。

7 財団奨励賞

* 平成15年度より、文化振興事業積立資産(旧財団基金)の運用益を基とする「財団奨励賞」の事業を実施しています。今年度も、駒ヶ根市における文化芸術の振興と文化的環境の充実を図るため、文化芸術に貢献し、実績のある個人・団体を顕彰します。

また、青少年の文化芸術振興を図るため昨年開催した「ジュニア駒展」について、駒展実行委員会と開催時期・内容の検討を行い、継続実施してまいります。

8 その他

* 市民の憩いの場であるすずらん公園「平和の森」は、新たに噴水施設が設置された事をふまえながら公園全体の景観整備を図ります。

* 施設、設備の適切な管理・保全に努めます。

公演日	演目	文化会館事業費			合計	文化会館事業収益					合計	担当	
		出演料・負担・補助金	諸経費	広告宣伝費		入場料金/席種	入場者	チケット収入	その他収入	委託収入【委託料】			
市民参加型	第30回郷土芸能まつり	負 500,000	0	0	500,000	無料	800	0	0	0	500,000	500,000	
	第58回 駒ヶ根市民音楽祭	負 200,000	0	0	200,000	無料	800	0	0	0	200,000	200,000	
	A-Stock Theater Komagane事業	補 500,000	0	0	500,000	自由	1,000	0	0	0	500,000	500,000	
	むつのを ジュニア和楽器隊	0	0	0	0	参加費	15	0	0	0	0	0	
教育/育成型	アンサンブル信州in倉田鑑賞教室	0	0	0	0	鑑賞	700	0	0	0	0	0	
	駒ヶ根高音楽祭マスタークラスコンサート	0	0	0	0	自由	500	0	0	0	0	0	
	和楽器のオーケストラ	出 1,200,000	50,000	200,000	1,450,000	一般	250	500,000	0	500,000	925,000	1,450,000	
	むつのを					学生	50	25,000					
	信毎駒ヶ根文化講演会	負 500,000	50,000	50,000	600,000	自由	900	0	0	0	600,000	600,000	
	優秀映画鑑賞事業	0	50,000	100,000	150,000	自由	50	25,000	0	0	125,000	150,000	
育成型	伊南子ども劇場共催事業 クロワッサンサーカスSHOW	負 250,000	0	0	250,000	自由	650	0	0	0	250,000	250,000	
	音楽文化協会共催事業	負 250,000	0	0	250,000	自由	600	0	0	0	250,000	250,000	
	友の会事業(観劇ツアー他)	0	800,000	0	800,000		0	0	700,000	0	100,000	800,000	
鑑賞型	若者向けコンサート												
	【青山テルマ・當山みれい・Beat Buddy Boi等交渉中】	出 7,000,000	500,000	400,000	7,900,000	指定	900	4,500,000	100,000	0	3,300,000	7,900,000	
	中高年向けコンサート												
	【渡辺美里・財津和夫等 交渉中】	出 7,000,000	500,000	400,000	7,900,000	指定	900	6,300,000	100,000	0	1,500,000	7,900,000	
	がーまるちょぼ サイレントコメディ	出 3,000,000	350,000	300,000	3,650,000	指定	700	1,400,000	20,000	0	2,230,000	3,650,000	
	アンサンブル信州in宮田	0	0	0	0	一般	600	0	0	0	0	0	
	第15回定期演奏会					高校生	100						
	駒ヶ根高音楽祭	負 500,000	0	0	500,000	S	300						
	第4回オープンニングガラコンサート					A	200						
						B	50						
	劇団四季ミュージカル	出 5,400,000	1,350,000	50,000	6,800,000	S	460	3,680,000	10,000	0	1,010,000	6,800,000	
	『夢から覚めた夢』					A	300	1,800,000					
						B	60	300,000					
						S	400	1,600,000					
	駒ヶ根落語会	出 2,160,000	10,000	350,000	2,520,000	A	150	450,000	60,000	0	310,000	2,520,000	
	【出演者交渉中】					B	50	100,000					
						自由	400	0	0	0	0	0	
	伊那文化会館共催事業	0	0	0	0								
	共通経費・その他収入	0	700,000	0	700,000				0	0	700,000	700,000	
	出 25,760,000												
	負 2,200,000												
	補 500,000												
	計 28,460,000												
	合計	出 25,760,000	4,360,000	1,850,000	34,670,000		11,885	20,680,000	990,000	0	13,000,000	34,670,000	

29年度事業の特色 1.地元演奏家及び地元出身者の出演(佐野成宏氏・駒ヶ根落語会での春風亭愛橋さん出演・地元演奏家によるコンサート)
2.市民参加型事業の充実(郷土芸能まつり・市民音楽祭・ジュニア和楽器隊)

【郷土芸能まつりについて、磐田市との交流公演を予定】

- 幅広い年代層への会館利用の促進(若者向け、中高年向けコンサート・ミュージカル・親子向けイベントタイム)
- 幅広い文化の公演(アンサンブル信州・むつのを)
- 地元鑑賞団体との共催事業(伊南子ども劇場・駒ヶ根音楽文化協会)
- 会員向け観劇バスツアーの企画

「駒ヶ根市図書館サービスの基本計画」に基づき、図書館サービスの向上を図る

◎重点項目

1 資料の収集と提供に努める

- ◎地域資料や行政資料の積極的な収集と整理「市や地域・郷土情報の充実」
- ◎データベース化（デジタル化資料）の順次導入移行を行い、将来への適性保存を図る
（導入済：信濃毎日新聞・国立国会図書館・法規法令、導入検討：朝日新聞／新聞現物資料の保管庫満杯に近い）
- ・加島文庫（中沢区 故「加島祥造」氏寄贈）の継続整備
- ・利用者の要求や社会的な動向と、当市の重点政策をふまえた資料の収集整備
（山岳・観光・多文化・IT・就業支援・障がい者・高齢者関係等）
- ・閉架書庫資料の見直しと整理（県内図書館と連携し各館で分野ごと分担保存）、貴重資料の点検や修繕

2 「第二次駒ヶ根市子ども読書活動推進計画（H25～29年度）」に基づき、児童サービスの充実を図る

- ◎「第三次駒ヶ根市子ども読書活動推進計画」の準備・検討（H30～34年度の5ヶ年計画）
- ◎学校と図書館で「アクティブラーニング」支援のための「調べ学習」デキストの作成を検討する
- ◎「家族読書の日（毎月第3水曜日）」を周知・普及し、関係機関と連携して読書環境の推進と啓発を図る
- ・満6ヶ月児「ブックスタート～はじめての本～」事業（子育て支援、読み聞かせ実演・絵本プレゼント）
- ・満2歳6ヶ月児「セカンドブック」事業（子育て支援、読みきかせ実演・絵本プレゼント）
- ・「よみーくちゃん巡回」事業（市内全保育園・幼稚園、子ども交流センター間の絵本巡回）
- ・小学校新入生「サードブック」事業（読育支援／学校司書・司書教諭等と連携、おすすめブックリストの配布）
- ・おはなし会（乳幼児対象・小学生対象）の他、各事業の実施（紙芝居会、お楽しみ会、クリスマス会、除籍本頒布会等）
- ・おはなしお出かけ図書館（出前事業）による館外活動の実施
（保育園・幼稚園・学校・公民館分館・地域自治組合・育児サークル・子ども交流センター等への出前事業）

3 利用者に応じたサービスを充実し、親しみやすく魅力ある生涯学習の場としての図書館を目指す

- ◎レファレンス（調べ事・相談依頼）に応えられる資料の整備と職員の資質向上（きめ細かな利用者サービスの提供）
- ・インターネット予約の周知・利用促進
- ・毎月のコーナー展示（時事話題等の特集展示、関連本の特集展示）の充実
- ・年齢やテーマに応じた資料の配架、新刊案内等の利用しやすい工夫
- ・研修会、夏休み親子教室、四季のおはなし会（一般成人対象）の開催
- ・情報コーナー（公開PC4台）、AVコーナー（視聴デッキ5台）、学習室の提供

4 関係機関との連携・協力を図る

- ◎公共図書館と学校図書館（7校）をネットワーク化していることによる資料の共有化と情報交換を積極的に行い、子ども読書活動の一層の推進を図る
- ・県内公共図書館を主とした相互貸借制度（自館にない書籍の貸し借り）の活用
- ・上伊那地域9館を中心とする公共図書館間の情報共有（増大するクレマー対策、県図書館大会準備など）

5 市民の図書館となるよう努める

- ◎館案内等の情報発信・広報宣伝の充実
ホームページ内容を精査・すみやかな更新を行い、タイムリーな情報発信と細やかな案内を行う。市報こまがね・テレビ図書館（CATV番組）・図書館だより（館広報紙）・フェイスブック等を活用し、幅広く館情報の発信を行う
- ◎中沢・東伊那分館の資料の見直しと充実を図り、分館利用者層の拡大・利用促進に努める
- ◎図書館協議会及び関係各団体・利用者からの意見や提言の反映
- ◎開館30年を経た館内設備（椅子・机・配架等）の順次更新を行い、利用者が過ごしやすく目的資料を探しやすい環境を整備する

6 目標値に向けてサービスに努める

蔵書数（登録資料+教科書資料+未登録図書）

	25年度	26年度	27年度	28年度（予定）	29年度（予定）
蔵書冊数	183,776	185,598	186,847	188,000	189,000
貸出冊数	203,942	202,010	220,724	220,000	220,000

7 その他

- ◎2期目となる「雑誌スポンサー制度」を活用しての雑誌資料の増加・充実（1期3年、2期／H29～31年度）
- ・読書通帳機や書籍除菌設備等の利用者サービス機器の導入検討

平成29年度博物館事業計画

駒ヶ根市立博物館

郷土の歴史や文化・自然などの資料の収集・整理に努めるとともに、文化・芸術活動の発表の場としての展示室・展示ロビーの効果的な活用の検討と運営を実施。

社会教育課・各公民館・市内小中学校・おもしろかっぱ館との連携強化及び相互分担による文化財講座や自然観察講座の実施と展示室のより効果的な利活用を図る。

これらの活動を通じ、郷土の文化財や自然に対する理解や保存・保全の意識の醸成に努めるとともに、博物館収蔵品の管理と保存、さらに公開するなどの活用の充実を図る。

付属館である郷土館・民俗資料館さらにあゆみ館の展示物及び利活用を社会教育課とも検討しながら資料館としての役割を再度検討していく。

1 展示事業

従来通りの博物館企画による展示と一般市民（団体・個人）の共催事業として実施する展示を行っていく。

（主催及び共催展示の期間について、その受付方法の検討と周知を年度内に行う）

・博物館主催による企画展の実施

ア 第16回 駒展

イ 第2回 ジュニア駒展

ウ 活躍してきたカメラ（仮題）

（元三協精機・駒ヶ根市観光アドバイザー「中原寧之」氏の所有するカメラ及び博物館収蔵品を展示室で、ロビーでは撮影写真を展示予定）

エ 市内出身の通学者が多数通学する高等学校の文化・芸術展の開催

オ 館収蔵品を中心とした企画展の開催

（自然関連展示「昆虫展」等・民俗資料・考古資料・芸術資料）

・博物館共催事業

・市内及び近隣市町村で活躍する文化・芸術団体及び個人の活動発表の場の提供

2 教育普及活動

・「古文書初心者講座」・「郷土を知る会」を継続実施する。

・博物館専門研究員による各種団体の研修への講師の派遣や文化財見学などへの資料提供や案内の充実を図る。

・資料の貸し出し、展示物の解説・案内などを通じ、学校教育と積極的に関わり、郷土への興味や愛着を図る。

3 資料収集及び整理

・博物館報（紀要）の発行により、年度ごとの博物館資料収集状況、専門研究員の調査研究実績を発表していく。

・収蔵図書資料や古文書類の活用のための整理作業の継続実施。

・考古資料の収蔵庫内の整備と活用方法の検討。

4 市文化財関係事業への助言並びに協力

・周知の埋蔵文化財包蔵地における土木工事等の事前確認（社会教育課との連携）

・希少動植物保護条例に基づく調査、助言等の実施。

・名勝光前寺庭園整備計画に基づく事業に伴う調査や現地見学会への協力。

・駒ヶ根市指定文化財に関わる調査への協力。（文化財審議会への協力）

・環境課、観光推進課との連携調査の実施。（ジオパーク構想への協力）

◎働く青少年及び働く女性に対して、日々の余暇を利用し、憩いやスポーツ・レクリエーション・文化教養等、余暇活動の場を積極的に提供し、身近で使いやすい施設を目指すとともに、社会人・職業人としての役割を積極的に果たすための、知識や能力を体得する場としての機能を持つことをねらいとする。

ホームの理念 『学びー憩いー集いー社会参加』

1 主催講座の開催

- ・勤労青少年・勤労女性の福祉向上に役立つ支援を行う。（相談・子育て支援等）
- ・職能取得、一般教養、趣味、健康、スポーツ等の内容で、ニーズをさぐりながら講座を開設する。また、昨年度も好評だった「簿記講座」や再就職を支援する講座について、継続開講できる様に検討する。
- ・前期・後期・単発のおよそ30講座を実施する。特に若いお母さんたちに好評な「ヨガ」、「リトミック」、「ピラティス」などの講座は前期・後期で開催し、多くの市民に受講していただく機会を設ける。

2 サークル（クラブ）の育成

- ・44サークル（クラブ）の利用室の調整等、明るく・楽しく・元気良く、活動しやすい場（会場）の提供、サークル内で起きた問題等の相談、また最近ではサークルメンバーの高齢化が目立つので、活動を継続出来る様に助言や協力を行う。
- ・一年間の学習の成果として、勤労青少年ホーム・女性ふれあい館合同での発表の機会（文化センターホーム祭）を設ける。
- ・主催講座からサークル（クラブ）へ移行できる様、助言、フォローを行う。

3 利用者の会支援

- ・会員数 約440名
役員及びサークル代表者を中心として世代を超えた相互の交流を深め、全会員が協力し合って、元気で主体的に運営できるよう支援する。

○事業内容

- ・全館清掃（6月実施）
- ・文化センターホーム祭（11月）
- ・活動記録「なかま」の編集発行（3月）
- ・女性ふれあい館の視察研修、利用者相互の親睦事業の実施
- ・勤労青少年ホームの視察研修、利用者相互の親睦事業の実施
- ・その他、サークル交流会(随時)等の実施

平成29年度 おもしろかっぱ館 事業計画(案)

活動の概要

- ・「かっぱ」の関連作品や資料を収集し、その収蔵資料を生かした親しみやすい展示を実施するとともに、他の教育機関や観光産業施設などと連携しながら利用の促進を図ります。
- ・市民が郷土の文化や自然への理解を深められるよう、ふれあい講座・ミニほっと講座を積極的に開催します。昨年の歴史講座もふれあい講座の一部とします。
- ・教育施設の枠にとどまらず、竜東地域の窓口としての立地を生かした地域振興に貢献できるよう取り組みます。

平成29年度目標として

- ①年間有料入館者目標2,200人
- ②「親子ふれあい講座」の名称を「ふれあい講座」に変更し、昨年の歴史講座もその一部とします。
- ③「ミニほっと講座」の実施
- ④プチ観光案内所として特に竜東地区の観光案内に努める

主な事業計画

1. 展示

- (1) 特別展「小島功・清水崑展」(4月1日～平成30年3月31日)予定
- (2) その他 地域の作品展示、スポット展示
 - ①天竜かっぱ祭り応募ポスター展示
 - ②その他

2. 講座

(1) ふれあい講座予定

日	曜日	講座内容	対象	講師
5月20日	(土)	星空観察会「木星を見よう」	親子・友達・個人	日岐 敏明
6月3日	(土)	中沢石灰と天龍川舟運送	歴史好きの方	小出 勇
7月8日?	(土)	竜東の観光と地域振興について	地域の関心のある方	駒ヶ根観光協会・小田切さん
8月5日	(土)	昆虫採集と標本作り	親子・友達・個人	田中 邦治
9月9日	(土)	かっぱ館周辺の地形と断層の学習	地域の関心のある方	村澤 秀樹
10月14日	(土)	星空観察会「秋の星座を観察しよう」	親子・友達・個人	日岐 敏明
11月11日	(土)	かっぱ館周辺の水害との闘いの歴史	地域の関心のある方	小出 勇

(2) ミニほっと講座

- ・かっぱ館を一人でも多くの皆様に知っていただき、地域の皆さんの交流の場として活用を図る為、簡単な手芸、絵画等の講座を行う

3. 運営委員会の委員改選と委員会の開催 (運営委員の任期は1期2年・28年度は5月10日18:30～開催)

4. 地域社会との連携

- (1) ホタル祭り(ホタルとアヤメの里づくりの会)未定、ホタルの発生状況をしっかり広報する。
- (2) 天竜かっぱ祭り 8月26日(土) 予定
- (3) 中沢区「地域づくり委員会」 なかっぱ市 年2回(28年度 7/23・10/8実施)
- (4) 歴史・風景・お花見・おいしい物・・・を楽しむフットパスに協力します。
- (5) その他